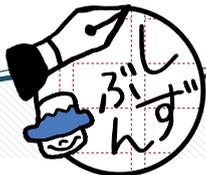


しずぶんツアー vol.7

# するが文化の散歩道

スタンプラリー 2024



静岡県中部には、日本近代史に名を残した文化人を顕彰する施設があります。静岡市、焼津市、藤枝市にある各施設を巡るスタンプラリーを通して、彼らの作品やそれらを育んだ風土を体感し、静岡の魅力を再発見してみませんか。

期間 2024年10月6日(日)～2024年12月8日(日)

会場 ①中勘助文学記念館 ②静岡市立芹沢銈介美術館  
③焼津小泉八雲記念館 ④藤枝市郷土博物館・文学館

\*②④は要入館料、①③は無料。  
\*施設ごと休館日が異なります。詳しくは7～14ページをご覧ください。

## ノベルティプレゼント

【オリジナルマグネット】



中勘助文学記念館



静岡市立芹沢銈介美術館



焼津小泉八雲記念館



藤枝市郷土博物館・文学館

期間中 スタンプを集めて  
オリジナルグッズをゲットしよう!

グッズのデザイン等は、  
静岡県立大学の学生が制作しました。

\*写真はイメージです。予告なく変更になる可能性があります。

【オリジナルバッグ】



【オリジナルチケットホルダー】



2館  
達成

各館オリジナルマグネット

または オリジナルチケットホルダー

\*お好きな方を一つだけ選んでいただけます。  
\*各施設に他施設のマグネットはありません。  
\*もらえるマグネットは1種類のみです。

交換済(スタッフ記入欄)

さらに  
もらえる!

4館  
達成

オリジナルバッグ

交換済(スタッフ記入欄)



大学生が作成した各施設の紹介はこちら

するが文化の散歩道 公式Instagram  
@SURU\_BUN



@SURU\_BUN

主催 静岡市 焼津市 藤枝市 協力 静岡県立大学 細川ゼミ

企画制作 公益財団法人静岡市文化振興財団、静岡市立芹沢銈介美術館、  
焼津小泉八雲記念館、藤枝市郷土博物館・文学館

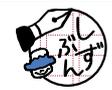
4つの施設をぐる自身で回るツアーです。



### ハッピーライド in 静岡プロジェクト

12月7日、8日は  
小学生バス無料!

詳細はこちら



### しずぶんツアーとは？

しず ぶん しず ぶん  
静岡にゆかりの文化人ならびに静岡の文化をみなさんに知ってもらい、その魅力を紹介するツアー。静岡の文化に親しみ、新たな静岡の魅力を見つられるきっかけとなれば幸いです。

## スタンプラリーのルール

- 対象施設に行き、展示物をご覧いただくとスタンプを押すことができます。会場に行くだけではスタンプを押すことができません。入館料が必要な施設もあります。
  - スタンプを押すことができるのは、来館したご本人のみです。
  - 施設ごとスタンプが異なります。同じスタンプを2個以上集めても1個分にしかカウントされません。
  - 各館を回る順番は自由です。
  - プレゼントの交換はそれぞれひとり1回までです。プレゼントの取り置きや配送等は行っておりません。
  - オリジナルマグネット、オリジナルチケットホルダー、オリジナルバッグは各館で引き換えができます。(引き換え期間 令和6年12月8日まで)
  - プレゼントは無くなり次第終了とさせていただきますので、あらかじめご了承ください。
- ※施設ごと休館日が異なります。詳しくは7〜14ページをご覧ください。



せりざわにゃんすけ

こちらにスタンプを押してください



にゃかかんすけ



こちらにスタンプを押してください





## おすすめの写真スポット



杓子庵

\*杓子庵屋内への立ち入りは不可。屋外からの写真撮影は可。

中勘助は、杓子庵で莫科川を眺め、月を仰ぎ、野草を愛で、鳥の声に耳を傾けながら静かに文筆生活を送っていたそうです。恵まれた村の自然に感謝し、新聞の人々との素朴なふれあいをよるこびながら、その生活を随筆「樟ヶ谷」の中に純粹に描きました。

## 施設からのメッセージ

## 中勘助文学記念館 関連イベント情報

### 光が織り成す 中勘助文学記念館

オリジナルの竹灯笼やスポットライトで、中勘助文学記念館をライトアップ。昼間とは違う中勘助文学記念館を、ぜひご覧ください。期間中、来館者各日先着 20 人に和菓子と日本茶も提供します。入場無料・申込不要。

日程：10月26日(土)～11月4日(月・休)  
17:00～19:00

休館日：10月28日(月)

\*10月26日(土)、11月1日(金)はイベント実施のため、観覧の一部制限があります。



### 小泉八雲没後 120 年 怪談朗読「耳なし芳一」

日程：10月26日(土) 17:30～19:00

出演：堤腰和余(朗読家/K朗読研究会)主宰

協力：焼津小泉八雲記念館

\*要事前申込(問い合わせ：静岡市文化振興財団 TEL:054-255-4746)

### 秋の夜長に愉しむ古典芸能 田辺鶴遊 講演会

日程：11月1日(金) 18:00～19:00

出演：田辺鶴遊(講師) 演目：中勘助物語

\*要事前申込(問い合わせ：静岡市文化振興財団 TEL:054-255-4746)

上記のイベントの様子は、静岡市文化振興財団の YouTube チャンネルにて生配信いたしますので、ぜひご覧ください。(アーカイブ配信はありません。)



堤腰和余

田辺鶴遊



# 中勘助文学記念館

中勘助文学記念館は、中勘助が昭和18(一九四三)年に東京から転地静養と疎開のために移り住んだ旧前田邸を「中勘助文学」の記念碑として位置づけ活用するため、中勘助の生誕110年目(没後30年目)にあたる平成7(一九九五)年に開館しました。中勘助直筆の原稿、書籍、遺品を展示しながら、貸室(無料)も実施。中勘助顕彰の場、文化交流の場として、広く親しまれています。

## INFORMATION

時 10:00～17:00

入 無料

住 静岡市葵区新聞 1089-120

● しずてつジャストライン

薬科線(約25分)

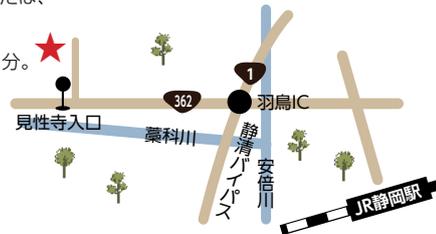
JR 静岡駅北口3番のりばまたは、

「新静岡」2番のりばから、

「見性寺入口」下車、徒歩4分。

駐車場(4台分)有り。

☎ 054-277-2970



## スタンプラリー期間中の休館日

- 月曜日(祝日の場合は翌日)
- 祝日の翌日(土・日の場合を除く)





## おすすめの写真スポット



農家の板倉を芹沢好みに改装した「芹沢銈介の家」。収集品を陳列し、応接間や創作の場として使用していました。

■施設からのメッセージ  
静岡市出身の染色家・芹沢銈介（一八九五～一九八四）の作品と、氏が集めた世界の工芸品を、年4回の展覧会を通してご覧いただけます。東京・蒲田から移築した「芹沢銈介の家」も公開しています。「日祝（8月は土日祝）のみ公開」

## 関連イベント情報

### 「芹沢銈介没後40年記念展 型染 色と模様の翼」

会期：10月6日（日）～12月8日（日）

休館日：毎週月曜日（10月14日、11月4日は開館）、10月15日、11月5日  
「型染」を新たな芸術のジャンルとして確立した芹沢銈介。没後40年を記念して、初期から晩年までの代表作約100点でその生涯の足跡をたどります。

### 光の館 ヒカリノヤカタ 2024

10月12日（土）18:00～20:00 ※入館は19:30まで  
美術館本館（別名「石水館」）は、建築家・白井晟一によって設計され、全国公共建築百選にも選ばれた建物。特別にライトアップされた夜の石水館をお楽しみいただけます。



# 静岡市立芹沢銈介美術館

静岡市立芹沢銈介美術館は、染色家・芹沢銈介より、郷里の静岡市に作品約600点と世界の工芸品約4500点が寄贈されたのを機に、昭和56（一九八二）年6月に開館しました。芹沢の染色作品には、のれん、屏風、着物、帯、絵本、カレンダー、うちわなどがあり、日々の暮らしを彩る品々を広範囲に手がけています。芹沢銈介の色彩豊かな作品と、明るく楽しいコレクションの数々をご覧ください。

## INFORMATION

時 9:00～16:30

入 一般 420円 / 高校生・大学生 260円  
小学生・中学生 100円 / 未就学児無料

（団体割引は30名以上でご利用いただけます。）

※静岡市内在住70歳以上の方・小中学生（通学含む）無料

※障がい者手帳の提示により本人及びその同伴者1名無料



住 静岡市駿河区登呂五丁目10-5

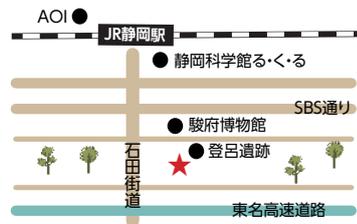
● しずてつジャストライン

JR静岡駅南口22番のりばから「登呂遺跡」行き乗車約10分、

終点下車、徒歩3分。

登呂公園南側に有料駐車場有り。  
（400円/1日）

☎ 054-282-5522



## スタンプラリー期間中の休館日

- 月曜日（祝日の場合は翌日）
- 祝日の翌日（土・日の場合を除く）



X(旧ツイッター) ホームページ

## 📷 おすすめの写真スポット



小泉八雲の肖像が刻まれている玄関のモニュメントは、御影石でできており、全体で霊峰富士を表し、中央に伸びゆく焼津市を、右側に焼津海岸の波を、左側は石積堤防を表しています。台座部分は、八雲滞在時の堤防に使用されていた石材が使用されています。



展示室

## 📌 施設からのメッセージ

小泉八雲は、晩年六回の夏を焼津で過ごし、当地にまつわる作品を多く残しました。焼津小泉八雲記念館では、八雲にゆかりのある品々を多数展示し、八雲が癒しの場として焼津の地を選んだ背景や焼津の人々とのふれあいを、時を超えた現代に伝えます。

## 関連イベント情報

### 小泉八雲没後 120 年記念 第 33 回企画展示会

#### 「不終の怪談—怪談に魅入られた文豪たち—」

日程：2024年10月5日（土）～2025年1月28日（火）

休館日：毎週月曜日（祝日の場合は翌日）、年末年始（12月29日～1月3日）

会場：焼津小泉八雲記念館

内容：DMM GAMES「文豪とアルケミスト」とのタイアップ展です。新潮文庫nex刊「不終の怪談 文豪とアルケミストノベライズ case 小泉八雲」に登場する、小泉八雲、泉鏡花、江戸川乱歩、中島敦ら4人の文豪を、怪談作家としての面に光を当ててご紹介します。会期中には文豪たちのキャラクターパネルも登場します。

# 焼津小泉八雲記念館

明治時代に来日し、焼津を愛した作家小泉八雲（ラフカディオ・ハーン）の文学と焼津との関わりを後世に伝えるために、平成19（二〇〇七）年にオープン。焼津関係資料を紹介した常設展示の他、年に2回の企画展示会や講演会、コンサートなども開催しています。また、館内併設の閲覧コーナーでは1000冊余りの八雲文献を公開しており、読書や研究活動にもご利用いただけます。

## INFORMATION

🕒 時 9:00～17:00

🎫 入 無料

🏠 住 焼津市三ケ名 1550

● 焼津市自主運行バス（約5分）

JR 焼津駅南口4番のりばから、「文化センター前」下車。

☎ 054-620-0022



## スタンプラリー期間中の休館日

● 月曜日（祝日の場合は翌日）





## おすすめの写真スポット



小川国夫文学碑

小川国夫の文学界に遺した功績を讃え、建立されました。



小川国夫の書斎(イメージ再現)



藤枝静男文学碑

## 施設からのメッセージ

小川国夫(一九二七～二〇〇八)や藤枝静男(一九〇七～一九九三)に代表される藤枝にゆかりのある様々な文学者の、直筆原稿や愛用品を展示して紹介しています。文化の香り高い藤枝の風土を、ゆかりの文学者たちの作品を通して感じていただければ幸いです。

# 藤枝市郷土博物館・文学館

藤枝市文学館は、藤枝ゆかりの文学者・芸術家や文学作品・芸術作品に関する資料を収集・展示し情報発信するために平成19(二〇〇七)年に開館しました。建物は藤枝市民の憩いの場である蓮華寺池公園内にあり、郷土博物館と接続しています。藤枝で執筆活動を終生続けた作家・小川国夫が日常の散歩道としてこよなく愛した蓮華寺池公園の自然の中で、藤枝の文学や郷土の歴史・文化を学ぶことができます。

## I N F O R M A T I O N

**時** 9:00～17:00

**入** 常設展のみ / 高校生以上 200円  
(特別展入館料は別途)  
中学生以下無料

障がい者手帳等をご提示の方は無料

**住** 藤枝市若王子 500

● しずてつジャストライン (約10分)

JR 藤枝駅北口 2 番のりばから  
新静岡方面行乗車、  
「蓮華寺池公園入口」下車 徒歩 10 分。

**☎** 054-645-1100



## スタンプラリー期間中の休館日

- 月曜日 (祝日の場合は翌日)
- 祝日の翌日 (土・日の場合を除く)  
※11月24日は開館
- くん蒸期間 (11月27日～12月4日)



ホームページ

## 関連イベント情報

### 文学館特別展「金子みすゞの詩」

日 程：令和6年8月24日(土)～10月20日(日)

休館日：毎週月曜日 (祝日の場合は翌日)

会 場：藤枝市郷土博物館・文学館

料 金：大人 600円 (中学生以下無料)

展示内容：「若さ童謡詩人の中の巨星」と称賛されながら、26歳の若さでこの世を去った詩人・金子みすゞ。みすゞの直筆の遺稿手帳や当時の資料を多数展示し、金子みすゞの童謡詩の魅力を紹介しします